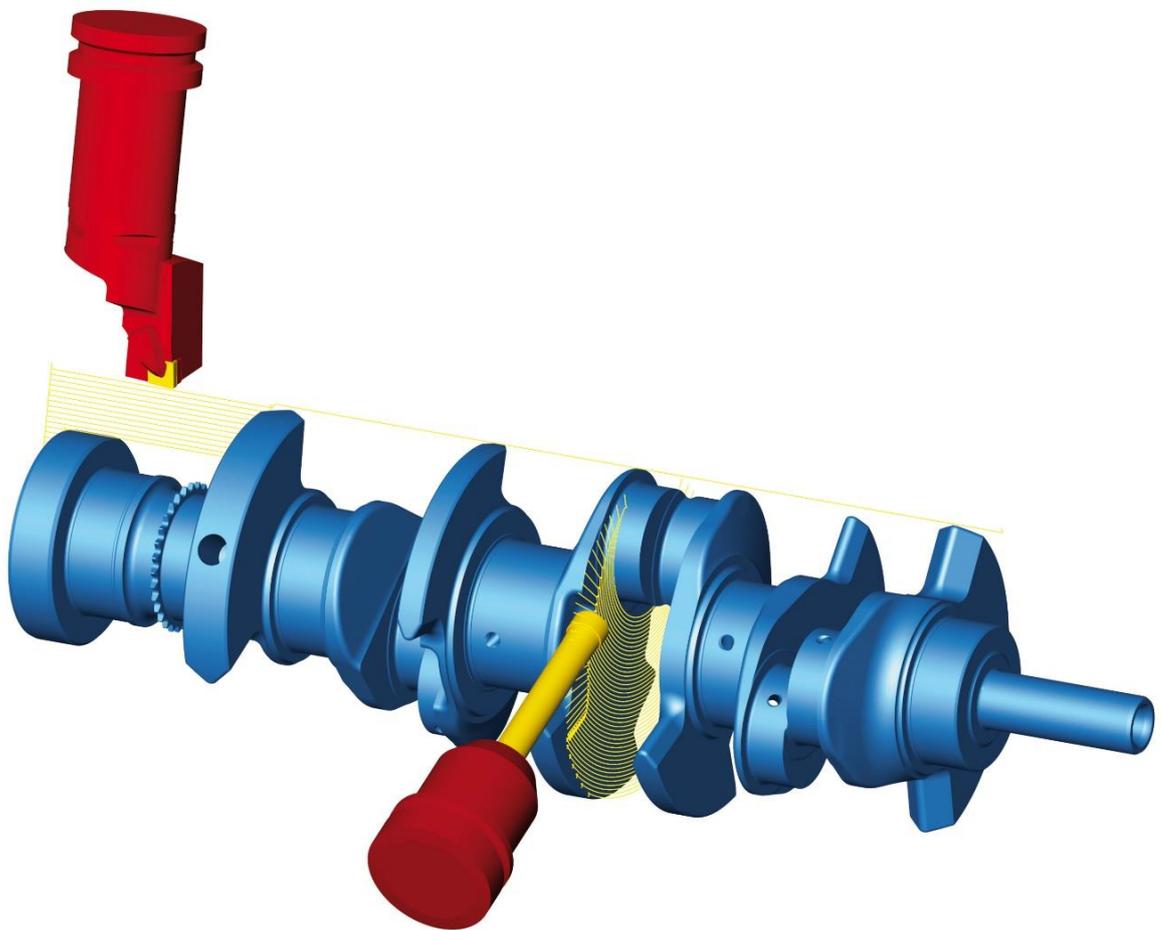


hyperMILL[®]

インストールガイド



オープン・マインド・テクノロジーズ・ジャパン株式会社

© Copyright OPEN MIND Technologies Japan K.K. All rights reserved.

- 本書は下記項目に関して記載してあります。
 - hyperMILL(CAM および CAD) のインストール
- ソフトウェアの不具合修正・機能改善により本書の内容に相違が発生する場合があります。
- 本書の複製・配布・引用にはオープン・マインド・テクノロジーズ・ジャパン株式会社の承諾が必要となります。

オープン・マインド・テクノロジーズ・ジャパン株式会社

本書の中で使用されているマーク



警告・注意

インストール作業を行う上での禁止事項などの重要な情報が記載されています。



情報

インストール作業を行う上での確認事項・アドバイスなどの情報が記載されています。

目次

1	はじめに.....	5
1.1	最新インストールファイル.....	5
1.2	インストールの流れ.....	5
2	hyperMILL のインストール.....	6
3	安定動作のための設定.....	16
3.1	グラフィックカードの設定.....	16
3.2	Microsoft IME の設定.....	17
3.3	高解像度ディスプレイの設定.....	18
3.4	セキュリティソフトの除外設定.....	19
4	ライセンスの登録・更新.....	20
5	初回起動時の設定.....	24
5.1	hyperMILL 設定.....	24
5.2	hyperVIEW 設定.....	25
6	hyperMILL のアンインストール.....	26
7	hyperMILL CAM のバージョン切り替え.....	27
8	WIBU ドングルのメンテナンス.....	28
8.1	WIBU ドングル ドライバーのインストール.....	28
8.2	WIBU ドングル ファームウェアの手動更新.....	31

9	環境設定の保存と復元	32
9.1	hyperMILL CAD 画面レイアウトの保存・復元	32
9.2	環境設定の保存・復元	33
10	トラブルシューティング	37
10.1	インストール関連	37
10.2	ライセンス・ dongle 関係	39
10.3	起動・動作関連	40

1 はじめに

本書は『hyperMILL』(CAM および CAD) のインストールについて説明しています。
なお、ソフトウェアの不具合修正や機能改善などにより作業手順・設定方法が異なる場合がございます。

1.1 最新インストールファイル

インストールに使用するファイルは弊社ダウンロードサイトからダウンロードしてください。

OPENMIND ダウンロードサービス

<https://www.dl.openmind-tech.co.jp/new>

ダウンロードサービスのご利用にはユーザー名とパスワードの入力が必要です

hyperMILL をインストールするためのシステム要件(ハードウェア・OS 等)に関しては以下をご確認ください。

hyperMILL システム要件

<https://www.dl.openmind-tech.co.jp/info/hyperMILL-requirements-jp.pdf>

1.2 インストールの流れ

hyperMILL のインストールは以下の流れで行います。

- | | |
|---------------------|------|
| ① 他社製 CAD のインストール | (*1) |
| ② hyperMILL のインストール | P.6 |
| ③ 安定動作のための設定 | P.16 |
| ④ ライセンスの登録・更新 | P.20 |
| ⑤ 初回起動時の設定 | P.24 |

(*1) SOLIDWORKS・Inventor をご使用の場合はあらかじめインストールを行ってください。

2 hyperMILL のインストール

hyperMILL のインストール手順について説明します。

重要

● **ユーザー名**

hyperMILL のインストールおよび使用は以下の禁止文字を含まないログインユーザーにて実施してください。

全角文字	あ ア 垂 A 1 @ など
半角カナ	ア ア など
右記のユーザー名	“user” および “USER”

● **ユーザー権限**

hyperMILL のインストールは管理者(Administrator)権限のあるユーザーで実施してください。

1 インストールプログラムの準備



hyperMILL_xxxx.x_Suite.zip

インストールプログラムは圧縮ファイル(zip 形式)で提供されていますので、解凍ソフトを使用して圧縮ファイルの解凍を行ってください。

圧縮されたままではインストールは行えません。

インストール用 USB・DVD が提供されている場合は、インストールプログラムを PC 内へコピーしてから解凍を行ってください。

◆解凍ソフトについて

インストールファイルは大容量(5GB 超)のため、『7-zip』『WinRAR』などの大容量の zip ファイルに対応した解凍ソフトを使用してください。

大容量 zip ファイルに対応していない解凍ソフトでは正しく解凍できません。

2 インストールプログラムの実行



インストールプログラムを実行します。
解凍したフォルダー内の Setup.exe を **管理者権限**で実行してください。

3 ユーザーアカウント制御



ユーザーアカウント制御のダイアログでは **はい** をクリックします。

4 セットアップ言語の選択



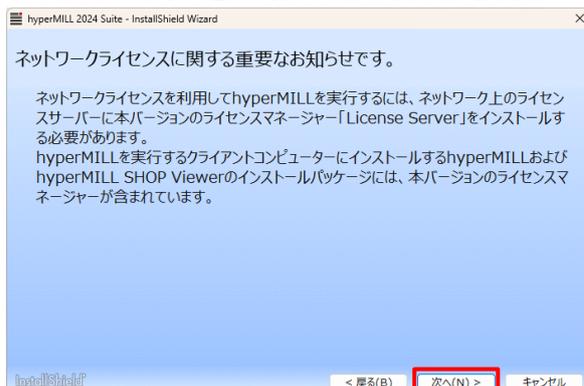
インストールプログラムで表示する言語を選択し **次へ** をクリックします。

5 InstallShield ウィザードへようこそ



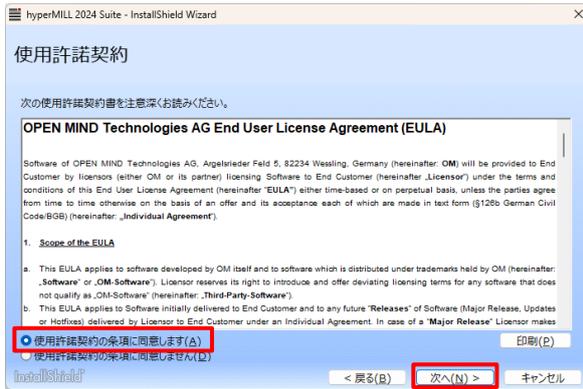
次へ をクリックします。

6 ネットワークライセンスに関する重要なお知らせ



次へ をクリックします。

7 使用許諾契約



内容を確認して「同意します」を選択し

次へ をクリックします

8 インストール先のフォルダ



インストール先を選択し **次へ** をクリックします。

※バージョンアップインストール時には表示されません

9 カスタムセットアップ



インストールする hyperMILL の機能を選択します。

次ページを参考に機能を選択し **インストール** をクリックします。

※バージョンアップインストール時には選択できません

運用状態が不明な場合は②を選択してください。

① hyperMILL

ドングル運用の hyperMILL 端末^(*1) および ネットワークライセンス運用のクライアント
 →hyperMILL 機能のみがインストールされます



*1 非ネットワークライセンス運用
 (ドングルを挿入した PC でのみ hyperMILL を使用)



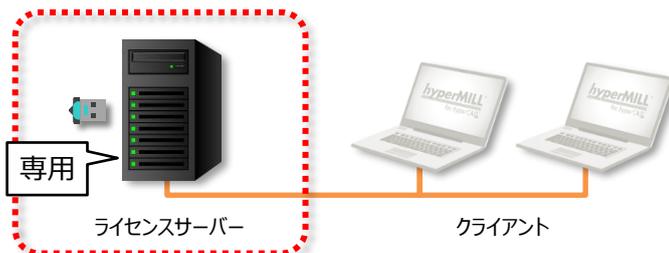
② hyperMILL + License Server

ネットワークライセンス運用のライセンスサーバー/クライアント兼用機
 →hyperMILL 機能とライセンスサーバー機能の両方がインストールされます



③ License Server

ネットワークライセンス運用のライセンスサーバー専用機
 →ライセンスサーバー機能のみがインストールされます



次ページへ続きます

以下は「hyperMILL SHOP Viewer」(ビューワ機能)のみを使用される場合です。
通常は選択しません。

④ hyperMILL SHOP Viewer

ドングル運用の **SHOP Viewer 端末** および ネットワークライセンス運用の **SHOP Viewer クライアント**
→SHOP Viewer 機能のみがインストールされます

⑤ hyperMILL SHOP Viewer + License Server

ネットワークライセンス運用の **SHOP Viewer ライセンスサーバー/クライアント兼用機**
→SHOP Viewer 機能とライセンスサーバー機能の両方がインストールされます

10 InstallShield ウィザードを完了しました



完了 をクリックします。

完了前に「CONFIGURATION Center」が表示された場合は、先に **11～19** の設定を行ってください。

11 CONFIGURATION Center

インストール中に「CONFIGURATION Center」が起動します。

旧バージョンの hyperMILL がインストールされている PC では下図の画面が表示されます。

※「hyperMILL のシステム設定」の画面が表示された場合は **12** へ進んでください

「設定を前のバージョンから適用」にチェックを入れると以前のバージョンの hyperMILL の環境設定が本バージョンに引き継がれます。

環境設定を引き継ぐ場合はチェックを入れて **次へ** をクリックします。



12 hyperMILL のシステム設定

hyperMILL の動作に関する設定を行います。設定完了後 **次へ** をクリックします。

※通常は変更する必要はありません



①	グローバル・ワーク・スペース	hyperMILL 設定やデータベースの初期保存先、一時ファイルの出力先として使用される場所を指定します。 初期状態では以下の場所が指定されます。 C:¥Users¥Public¥Documents¥OPEN MIND
②	MDF パス	ポストプロセッサの「登録情報」(ポスト本体の所在・拡張子などの設定) の保存先を指定します。
③	プロジェクトパス	ジョブリスト作成時に設定する「プロジェクト・フォルダー」の場所の初期値を指定します。
④	プロジェクトパスを使用	チェックを入れると hyperMILL でジョブリストを作成する際にプロジェクト・フォルダーの設定ダイアログが毎回表示されます。
⑤	言語	hyperMILL メニューの表示言語を選択します。
⑥	単位	データの単位系を選択します。 通常は「ミリ(mm)」を選択してください
⑦	CAD プラットフォーム	hyperMILL 機能をアドオンする CAD 環境を指定します。 ご使用中の CAD にチェックを入れてください。

13 アプリケーション・データベース・プロジェクト

hyperMILL 起動時に読み込む各種データベースの初期設定を行います。設定完了後 **次へ** をクリックします。以前使用していたデータベースを継続使用する場合は ① を、新規インストール時や設定内容が不明な場合は ③ を選択してください。

「DB プロジェクトが見つかりました」と表示された場合、以前使用していたバージョンにてデータベース設定が完了しています。
次へ をクリックして設定をスキップしてください。



①	以前のバージョンからデータベースをインポート	旧バージョンの hyperMILL で使用していたデータベースが読み込まれます (*1)(*2)
②	空のデータベースプロジェクト	工具・マクロ・カラーテーブル・バーチャルツールが登録されていない空のデータベースが読み込まれます
③	デモデータベースプロジェクト	サンプルの工具・マクロ・カラーテーブル・バーチャルツールが登録されたデータベースが読み込まれます
④	新規データベースプロジェクト	データベースが何も選択されていない状態となります 新規 または 変更 ボタンをクリックしデータベースの選択を行ってください

*1 バージョンアップインストール時のみ表示されます
 *2 旧バージョンのデータベースを読み込んだ場合、hyperMILL 起動時にデータベースのアップデートが必要です。アップデートの確認画面で **はい** をクリックし、アップデートを行ってください。

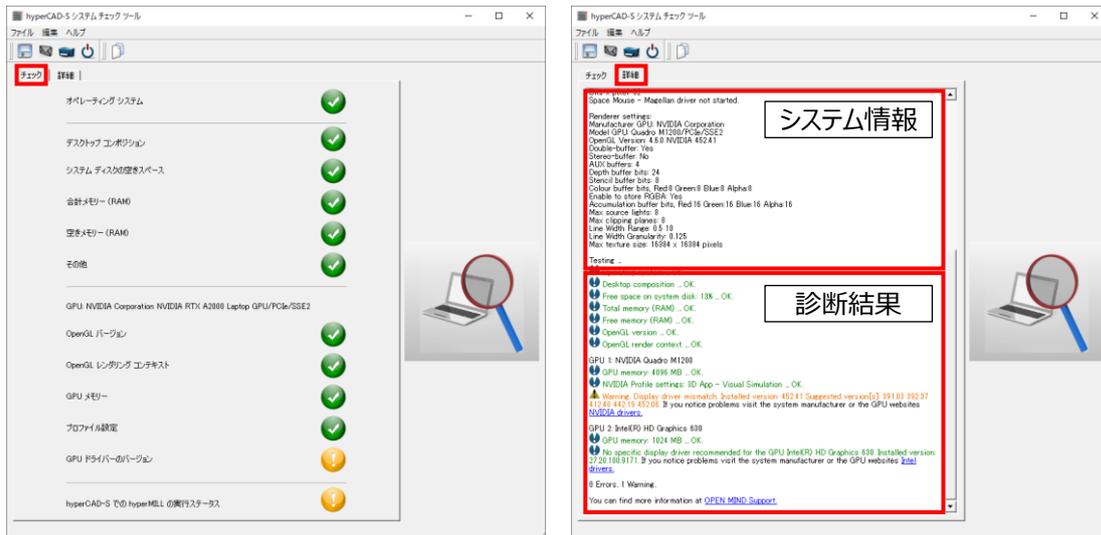
14 初期設定が終了しました



すべてを設定したら **閉じる** をクリックします。

15 システムチェックツール

CONFIGURATION Center の終了後、「システムチェックツール」が実行されます。「詳細」タブを開いて診断結果を確認してください。



OK	hyperMILL のシステム要件を満たしています。
警告	hyperMILL のシステム要件を満たしていませんが基本的には対策の必要はありません。
エラー	hyperMILL のシステム要件を満たしていないため対策が必要です。

診断結果の詳細に関しては次ページを参照してください。

以上で hyperMILL のインストールは終了です。

引き続き [3 安定動作のための設定 \(P.16\)](#) へお進みください。

診断結果の例 ※警告・エラーのみを記載しています

システム関連

	メッセージ	概要	対策
	Warning. Low system disk space: [HDD 容量] %. Use disk cleanup to free up.	警告：HDD の空き容量が不足しています。	ディスクのクリーンアップの実行または不要ファイルの削除を行い空き容量を確保してください。 推奨環境は 10GB 以上です。
	Warning. Low total memory (RAM): [メモリー容量] GB. 16GB or more are recommended.	警告：物理メモリー量が不足しています。	メモリーを増設して下さい。 推奨環境は 16GB 以上です。
	Warning. Low free memory (RAM): [メモリー容量] MB. Free some memory closing unused applications.	警告：空きメモリーが不足しています。	使用していないアプリケーションを終了し、空きメモリー量を確保して下さい。
	Warning. The temporary folder C:\Users\¥ [ユーザー名] \¥AppData\¥Local\¥Temp takes up a lot of space. Recommend clean-up.	警告：一時ファイルのフォルダーは多くの空き容量が必要です。	一時ファイルの削除を行い空き容量を確保してください。

グラフィック関連

	メッセージ	概要	対策
	Error. Old OpenGL version: [バージョン] . OpenGL 4.0 or greater is required. Update the display driver or the graphic board.	エラー：OpenGL のバージョンが古い。	ディスプレイドライバーを更新するか、グラフィックカードを新しいものに交換して下さい。
	Error. Double buffering not available with the render context. Verify it from the Control Panel->Display - GPU settings.	エラー：ダブルバッファが有効になっていません。	ディスプレイドライバー設定を変更するか、グラフィックドライバーを更新して下さい。
	Error. NVIDIA Profile settings: Base Profile. We recommend using NVIDIA Global presets Workstation App-Dynamic Streaming or 3D App-Visual Simulation that you can set from the NVIDIA control panel->3D Settings->Manage 3D Settings->Global Settings tab.	警告：NVIDIA 製グラフィックカードのグローバルプリセット設定で「ベースプロファイル」が選択されています。	3.1 グラフィックカードの設定 (P.16) の手順でグローバルプリセットを変更して下さい。

グラフィック関連 (つづき)

	メッセージ	概要	対策
	Warning. The full scene anti-aliasing feature is not available.	警告：アンチエイリアスが有効になっていません。	ディスプレイドライバー設定を変更またはグラフィックドライバーを更新してください。
	Warning. 【プリセット名】 is active. Turn it off if you do not really use it. Control Panel->Display - GPU settings.	警告：NVIDIA 製グラフィックカードのグローバルプリセット設定で推奨されていないプリセットが選択されています。	3.1 グラフィックカードの設定 (P.16) の手順でグローバルプリセットを変更してください。
	Warning. Display driver mismatch. Installed version: 【新バージョン】 Suggested version[s]: 【旧バージョン】 If you notice problems visit the system manufacturer or the GPU websites 【グラフィックカードメーカー】 drivers.	警告：ディスプレイドライバーが、検証済みリストと適合しません。(インストールされたドライバーが推奨バージョンより新しい)	基本的には問題ありませんが、問題が発生した場合は推奨バージョンのドライバーをインストールしてください。
	Warning. Display driver mismatch. Installed version: 【旧バージョン】 Suggested version[s]: 【新バージョン】	警告：ディスプレイドライバーが、検証済みリストと適合しません。(インストールされたドライバーが推奨バージョンより古い)	推奨バージョンのドライバーをインストールしてください。
	Warning. Application's running on integrated GPU. The use of NVIDIA GPU is recommended. Select it as preferred GPU in the NVIDIA control panel or with global presets like Workstation App-Dynamic Streaming or 3D App-Visual Simulation or disable the NVIDIA Optimus™ technology from BIOS setup.	警告：統合型グラフィックカードが動作しています。NVIDIA 製グラフィックカードの使用を推奨します。	NVIDIA 製グラフィックカードの場合、NVIDIA コントロールパネルの「優先するグラフィックプロセッサ」を「高パフォーマンス」に変更してください。または BIOS で「NVIDIA Optimus」を無効にしてください。
	Warning. No specific display driver validated for the GPU Intel® HD Graphics 【製品番号】 Installed version: 【ドライバーバージョン】 Check with the manufacturer.	警告：Intel 製グラフィックカード用に検証されたグラフィックドライバーはありません。	Intel 製グラフィックカードを使用していない場合はこの警告を無視してください。

3 安定動作のための設定

hyperMILL を安定動作させるための設定に関して説明します。

3.1 グラフィックカードの設定

NVIDIA 社「NVIDIA RTX」「NVIDIA T」「NVIDIA Quadro」シリーズのグラフィックカードをご使用の場合、以下の手順で「グローバルプリセット」(グラフィック設定)の切り替えを行ってください。



Windows Update 実行後にグローバルプリセットが初期状態に戻ることがあります。
その場合は再度グローバルプリセットの切り替えを行ってください。

1 以下の手順で「NVIDIA コントロールパネル」を起動します。

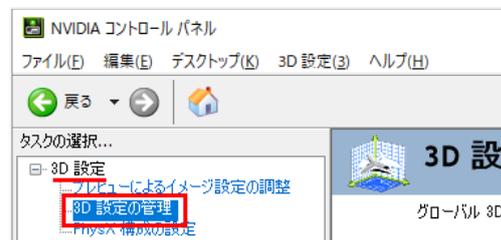
■ Windows 11

デスクトップ上で右クリック → その他のオプションを確認 → NVIDIA コントロールパネル

■ Windows 10

デスクトップ上で右クリック → NVIDIA コントロールパネル

2 タスクの選択 にて 3D 設定 →
3D 設定の管理 をクリックします。



3 グローバル設定タブの グローバルプリセット にて『3D App - Visual Simulation』を選択します。

グローバルプリセット項目が表示されない場合は設定できないため作業を終了してください。



4 プリセット切り替え後 適用 ボタンをクリックします。



3.2 Microsoft IME の設定

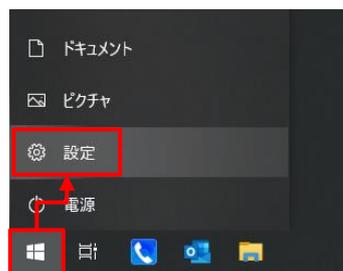
Windows 10 の「Microsoft IME」(日本語変換機能) においていくつかの不具合が確認されており、この影響によって hyperMILL が操作不能となる場合があります。

Microsoft IME を使用されているお客様は以下の手順で設定変更を行ってください。



Windows Update 実行後に IME 設定が初期状態に戻ることがあります。
その場合は再度 IME 設定の変更を行ってください。

- 1 Windows スタートメニューを開き **設定** をクリックします。



- 2 「Windows の設定」の検索ボックスに "IME" と入力し、候補に表示される **日本語 IME 設定** をクリックします。



- 3 **全般** をクリックします。



- 4 **互換性** 項目にある「以前のバージョンの Microsoft IME を使う」をクリックしてオンにします。
設定後、**X** ボタンをクリックして設定を閉じます



3.3 高解像度ディスプレイの設定

高解像度(WQHD・4K など)ディスプレイをご使用されているかつ Windows 設定にて表示スケールを 100%超に変更されている場合は、以下の手順で高解像度表示用の設定を行ってください。

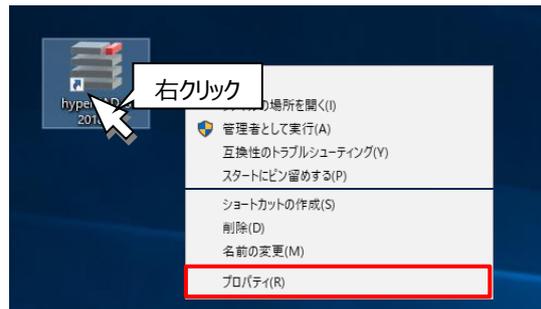
拡大縮小とレイアウト

テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する

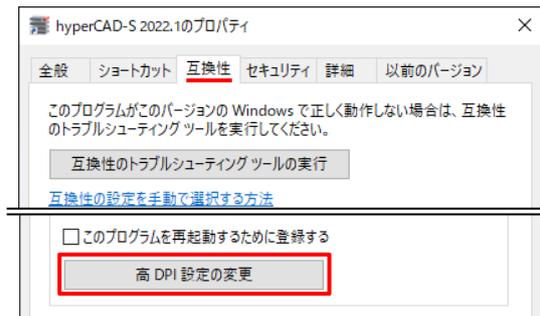
150%

[表示スケールの詳細設定](#)

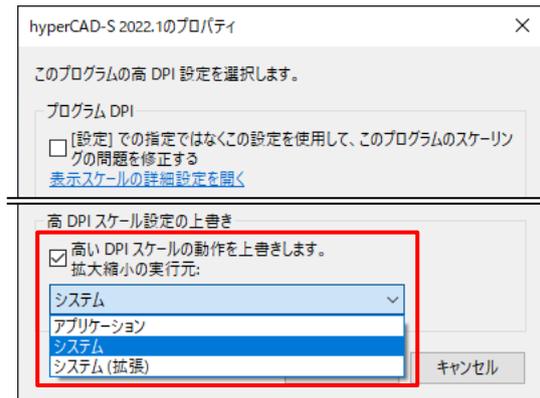
- 1 デスクトップ上の hyperMILL のアイコンを右クリックし **プロパティ** をクリックします。



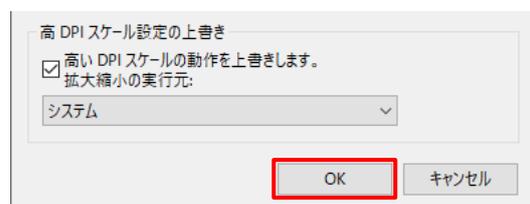
- 2 互換性タブを開き **高 DPI 設定の変更** をクリックします。



- 3 **高い DPI スケールの動作を上書きします。** にチェックを入れ、プルダウンを **システム** に切り替えます。



- 4 切り替え後 **OK** をクリックします。



3.4 セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトの影響を避けるため、インストール後に以下のフォルダーをセキュリティソフトのチェック対象から除外することを推奨します。^(*1)

アプリケーション・ファイル	インストール先・保存先
hyperMILL インストール先	[標準設定の場合] C:¥Program Files¥OPEN MIND
CodeMeter ^(*2) インストール先	C:¥Program Files (x86)¥CodeMeter
グローバル・ワーク・スペース	[標準設定の場合] C:¥Users¥Public¥Documents¥OPEN MIND
OPENMIND 設定ファイル	C:¥Users¥[ユーザー名]¥AppData ¥Roaming¥OPEN MIND
一時ファイル出力先①	C:¥Users¥[ユーザー名]¥AppData ¥Local¥Temp¥OPEN MIND
一時ファイル出力先②	C:¥ProgramData¥OPEN MIND
NC ファイル出力先	任意の場所 (C:¥NC Data など)
CAD ファイル保存先・ プロジェクト・フォルダー保存先	任意の場所 (C:¥Work Data など)
ポストプロセッサ保存先	任意の場所 (C:¥Post など)

*1 セキュリティソフトの設定方法に関してはソフトウェア提供元へお問い合わせください

*2 ライセンス認識管理用ソフトウェア

以上で安定動作のための設定は終了です。

引き続き [4 ライセンスの登録・更新 \(P.20\)](#) へお進みください。

4 ライセンスの登録・更新

hyperMILL 用ライセンスの登録・更新手順について説明します。

※ライセンスの登録・更新にはインターネット接続環境が必要です

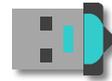
重要

- ライセンスの登録/更新は 最新版のライセンスマネージャーで行ってください。
- すべての hyperMILL が停止した状態で行ってください。
- インターネットの通信状態が良い環境で行ってください。
- 指示があるまでコンピューターから dongle を取り外さないでください。

1 以下の物品を用意します。

WIBU ドングル

右図形状の dongle



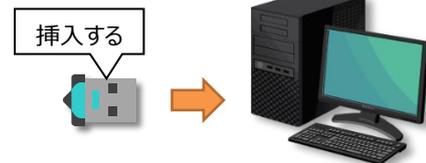
アクティベーションコード

ライセンスカードに記載された 25 桁の英数字

※お手元がない場合は弊社までご連絡をお願いします



- 2** WIBU ドングルをコンピューターに挿入します。
WIBU ドングルが複数本提供されている場合は
1 本のみ 挿入してください。



また **他社ソフトウェア用の WIBU ドングル** が
挿入されている場合は、誤操作防止のために
必ず取り外してください。

- 3** Windows スタートメニューから「ライセンスマネージャー」を **管理者権限** で起動します。

■ Windows 11

スタート → すべてのアプリ → hyperMILL → ライセンスマネージャー
右クリックし 詳細 → 管理者として実行

■ Windows 10

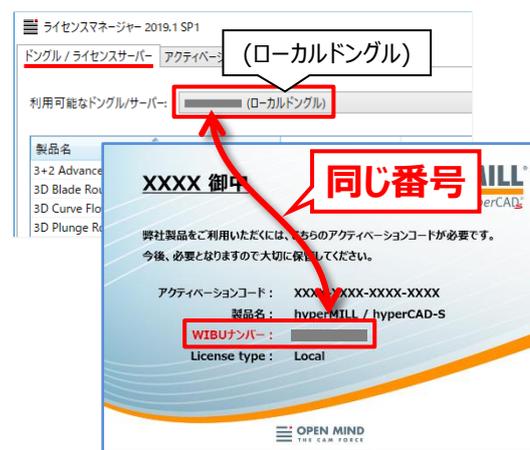
スタート → すべてのアプリ → hyperMILL → ライセンスマネージャー
右クリックし その他 → 管理者として実行

- 4 「ユーザーアカウント制御」のダイアログでは
 はい をクリックします。

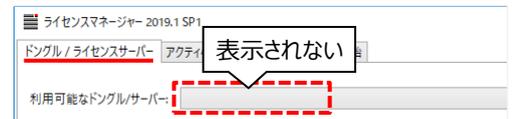


- 5 ライセンスマネージャーが起動します。
 ドングル/ライセンスサーバー タブの「利用可能なドングル/サーバー」項目に表示された
“X-XXXX (ローカルドングル)” の番号と
 ライセンスカードの **“WIBU ナンバー”** の番号が
 同じことを確認します。

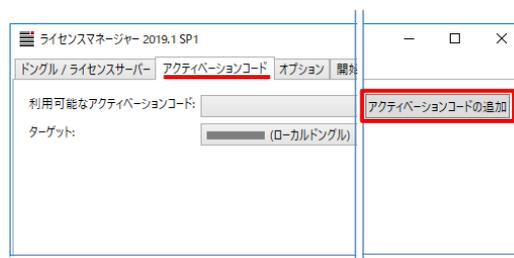
番号が異なる場合は作業を中止してください。



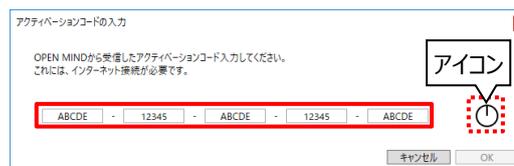
ローカルドングルの番号が表示されない場合は
[8.1 WIBU ドングル ドライバーのインストール \(P.28\)](#) をご確認ください。



- 6 アクティベーションコード タブに切り替え、
 アクティベーションコードの追加 をクリックします。



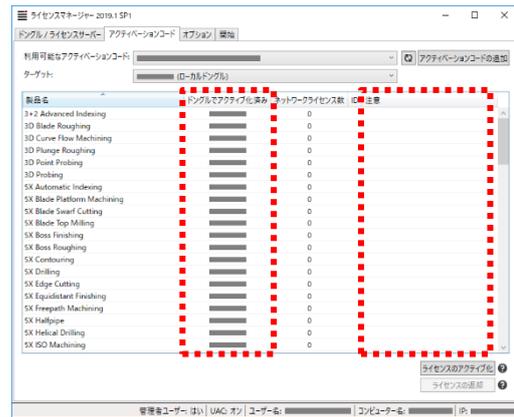
- 7 アクティベーションコードを入力します。
 入力後、自動的にコードの確認が行われます。



コードが正しい場合は右側のアイコンが に変わります。 OK をクリックし入力画面を閉じます。
 間違っている場合はアイコンが に変わります。入力したアクティベーションコードを確認してください。

8 アクティベーションコードに紐付いたライセンスの一覧が表示されます。

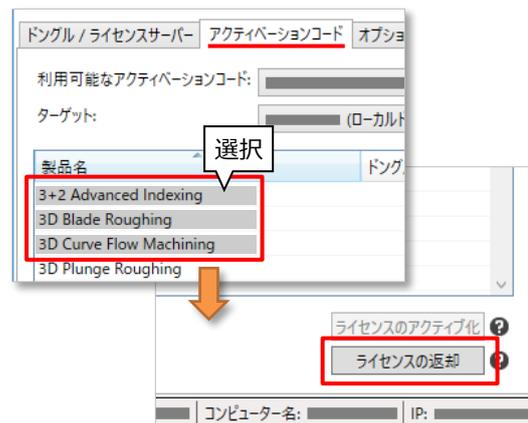
ドングルでアクティブ化済み および **注意** 項目に表示されたメッセージを確認し、以下のように対応してください。



メッセージ	対応内容
① 「返却が必要です」	9 へお進みください。
② 「アップデートが利用可能です」または「アクティブ化されていません」	10 へお進みください。
③ 上記以外のメッセージが表示されている	弊社 ならびに hyperMILL 代理店 までお問い合わせください。
④ メッセージが表示されていない	ライセンス更新の必要はありません。 11 へお進みください。

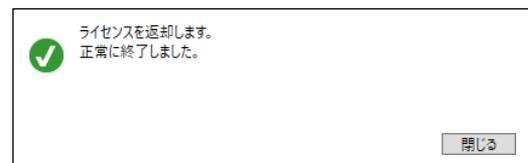
9 ① 「返却が必要です」

メッセージが表示されたライセンスをすべて選択し **ライセンスの返却** をクリックしてください。WIBU ドングル内のライセンスが弊社サーバーへ返却されます。



ライセンス返却後、「正常に終了しました」と表示されます。

閉じる をクリックし **10** へお進みください。



10 ② 「アップデートが利用可能です」

または 「アクティブ化されていません」

メッセージが表示されたライセンスをすべて選択し

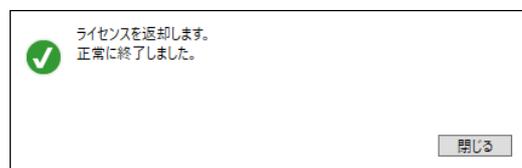
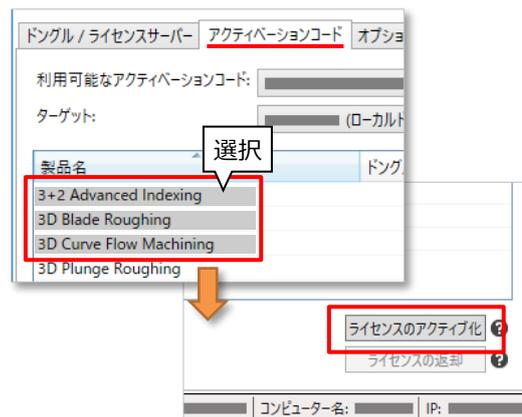
ライセンスのアクティブ化 をクリックして

ください。

弊社サーバーのライセンスが WIBU ドングル内へ書き込まれます。

ライセンス書き込み後、「正常に終了しました」と表示されます。

閉じる をクリックし、11 へお進みください。

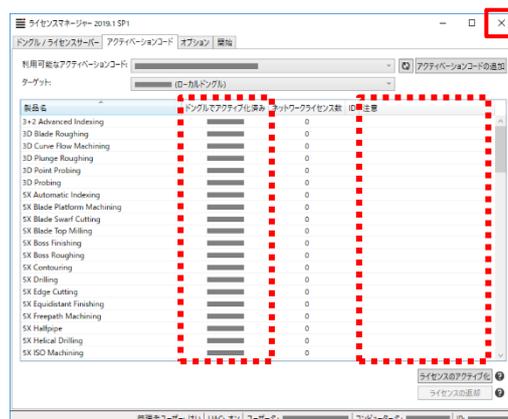


11 すべての項目にメッセージが表示されていなければ、ライセンスの更新は完了です。

× をクリックしてライセンスマネージャーを終了します。

以上でライセンスの登録・更新は終了です。

引き続き [5 初回起動時の設定 \(P.24\)](#) へお進みください。



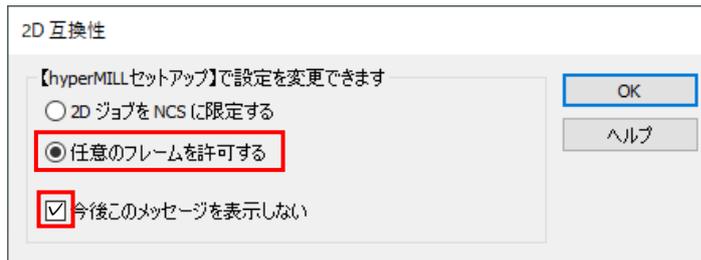
5 初回起動時の設定

各アプリケーションをはじめて起動した際の設定に関して説明します。

5.1 hyperMILL 設定

2D 互換性の設定

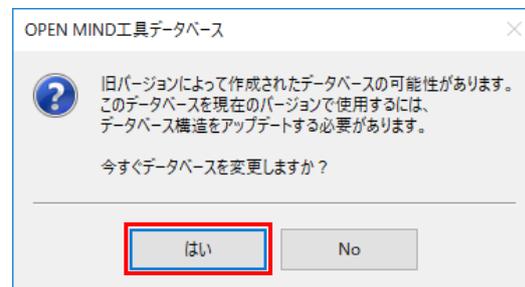
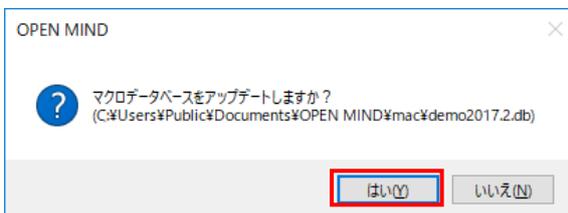
加工方向の制限に関する設定です。『任意のフレームを許可する』を選択したうえ「今後このメッセージを表示しない」にチェックを入れてください。



2D ジョブを NCS に限定する	2D 加工 および ドリルサイクル の加工方向が <u>NCS の Z 軸方向に限定</u> されます。(フレームが選択できなくなる)
任意のフレームを許可する	2D 加工 および ドリルサイクル の加工方向が任意の方向に設定できます。(フレームが選択できる) 通常はこちらを選択してください。

データベースのアップデート

CONFIGURATION Center でのデータベース設定時に旧バージョンのファイルを選択した場合、アップデートに関するメッセージが表示されます。**はい** をクリックしてアップデートを行ってください。



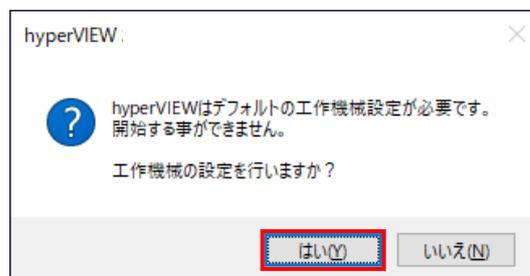
5.2 hyperVIEW 設定

hyperVIEW 初回起動時には、以下の設定を行ってください。

ポストプロセッサの選択

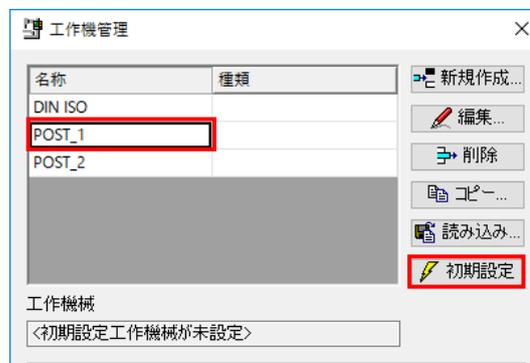
初回に使用するポストプロセッサを選択します。

- 1 hyperVIEW 起動後に右図画面が表示されますので **はい** を選択します。



- 2 一覧から使用するポストプロセッサを選択し **初期設定** をクリックします。

初回に使用するポストプロセッサが登録されます。



NC ファイル変換の設定

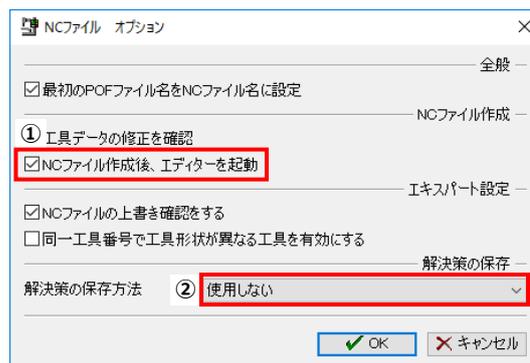
NC ファイル変換に関する設定を行います。

オプション → **NC ファイル** からオプションメニューを開き「① NC ファイル作成後、エディターを起動」にチェックを入れます。

NC ファイル変換時、作成された NC ファイルがメモ帳で開かれるようになります。

また「② 解決策の保存方法」を『使用しない』に設定します。

ポストプロセッサ内で定義された角度情報をもとに NC ファイルが作成されるようになります。



以上で初回起動時の設定は終了です。

6 hyperMILL のアンインストール

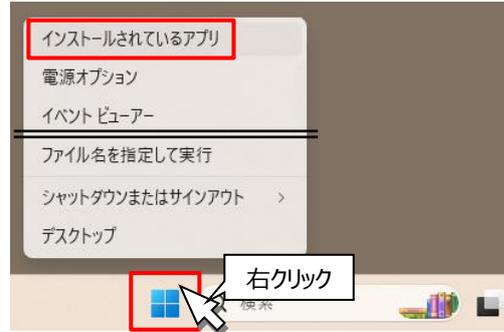


他社 CAD (SOLIDWORKS または Inventor) をアンインストールする場合は hyperMILL のアンインストール後に実施してください。

- 1** Windows スタート を右クリックし、以下のメニューを選択します。

Windows 11 : インストールされているアプリ

Windows 10 : アプリと機能



- 2** アプリ一覧にある『hyperMILL xxxx Suite』を選択し、『アンインストール』をクリックします。

『Suite』をアンインストールすることで hyperMILL 関連のすべてのアプリがアンインストールされます。



- 3** ユーザーアカウント制御の画面にて『はい』をクリックします。



- 4** アンインストールの画面にて『削除』をクリックします。アンインストール完了後は PC を再起動してください。



7 hyperMILL CAM のバージョン切り替え

hyperMILL CAM のバージョン切り替え手順を説明します。

古いバージョンの hyperMILL CAM を使用する場合は以下の手順でバージョン切り替えを行ってください。

1 Setting Wizard フォルダ内の「SwitchUI」を起動します。

例) Cドライブ → ¥Program Files → ¥OPEN MIND → ¥Setting Wizard → ¥[番号]^(*1) → ¥SwitchUI.exe

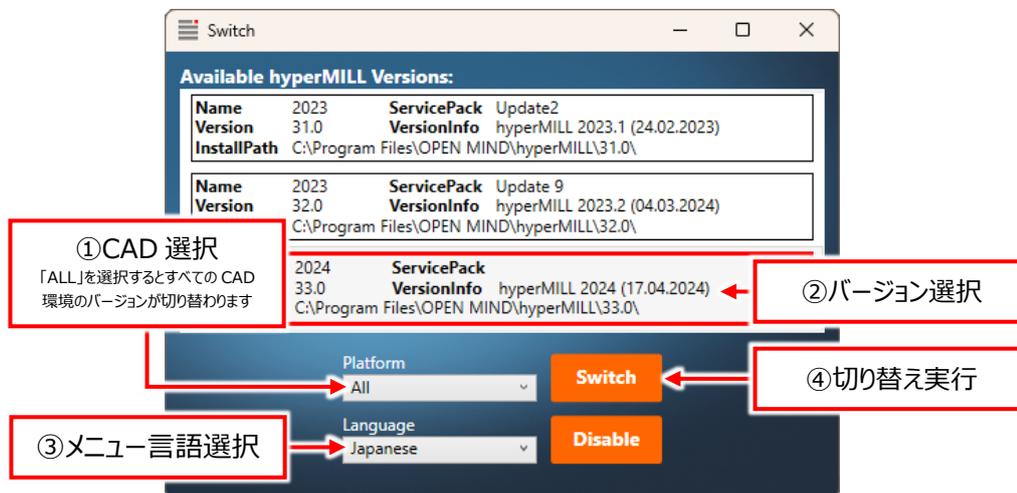


*1 バージョンを表す内部番号です。一番大きな数字(最新 Ver.)の SwitchUI.exe を起動してください

2 ユーザーアカウント制御の画面にて はい をクリックします。

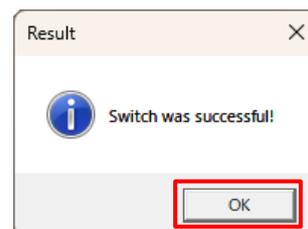


3 操作画面が表示されます。①～③ を選択して Switch をクリックしてください。



4 切り替えが完了すると右図画面が表示されます。

OK をクリックしてください。



8 WIBU ドングルのメンテナンス

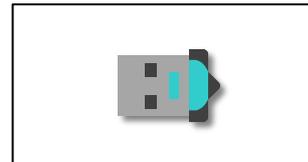


本項は WIBU ドングルが認識されない方が対象です。
すでに dongle が認識されている場合は 本項の作業は不要です。

8.1 WIBU ドングル ドライバーのインストール

ライセンスマネージャー上に WIBU ドングルの番号が表示されない場合は一度 コンピューターの再起動を行い、再度ライセンスマネージャーにて確認を行ってください。

再起動後も番号が表示されない場合は、以下の手順で **ドライバー** (WIBU ドングル認識用のプログラム)をインストールしてください。



ドライバーのインストールプログラムは下記から入手してください。

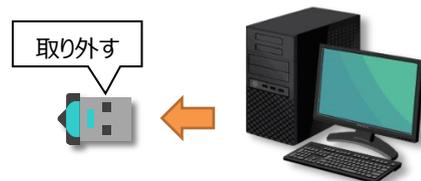
Wibu-Systems 社 ホームページ

■ ユーザー用ソフトウェア

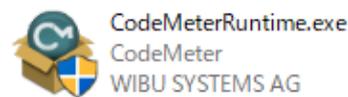
<https://www.wibu.com/jp/support/user/downloads-user-software.html>

→ 『CodeMeter User Runtime for Windows』をダウンロードしてください

- 1 コンピューターから すべての WIBU ドングルを取り外します。
(他社製ソフトウェア用の WIBU ドングルも含まれます)



- 2 ダウンロードしたインストールプログラムを実行します。



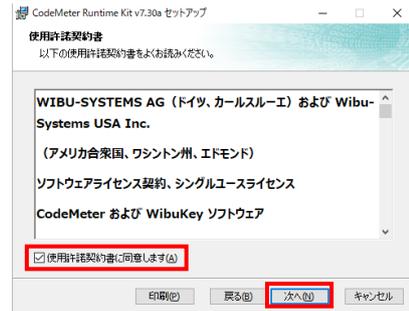
- 3 ユーザーアカウント制御の画面が表示されます。
 はい をクリックします。



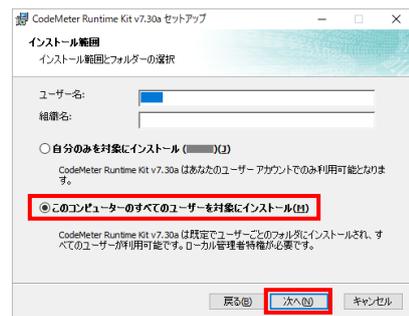
4 右図画面が表示されます。
 をクリックします。



5 使用許諾契約書(英文)が表示されます。
「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れて
 をクリックします。

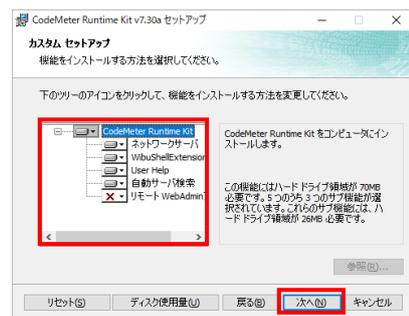


6 インストール範囲が表示されます。
「このコンピュータのすべてのユーザーを対象にインストール」を
選択して をクリックします。

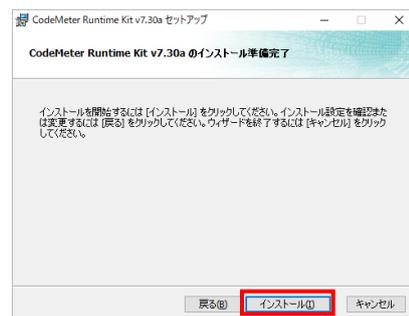


7 カスタムセットアップが表示されます。
以下の 4 機能を選択 () して
 をクリックします。

- ネットワークサーバ
- WibuShellExtension
- User Help
- 自動サーバ検索



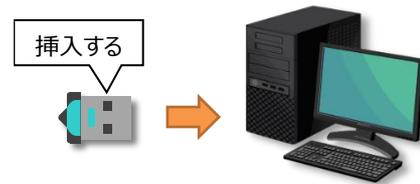
8 右図画面が表示されます。
 をクリックするとインストールが開始します。



- 9** インストール終了後、右図画面が表示されます。
完了 をクリックします。



- 10** コンピューターへすべての WIBU ドングルを挿入します。
(他社製ソフトウェア用の WIBU ドングルも含まれます)



- 11** Windows スタートメニューから「CodeMeter Control Center」を起動します。

スタート → すべてのアプリ → CodeMeter → CodeMeter Control Center

- 12** CodeMeter Control Center メニューの右側に WIBU ドングルの番号が表示されていることを確認します。
表示されていない場合は コンピューターを再起動してください。



以上で WIBU ドングル用ドライバーのインストールは終了です。

8.2 WIBU ドングル ファームウェアの手動更新

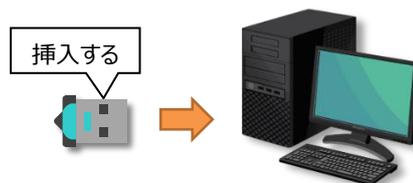


本項は弊社または hyperMILL 代理店から指示があった場合のみ実行してください。

WIBU ドングルのファームウェアの手動更新は以下の手順で行います。

- 1** hyperMILL 用の WIBU ドングルをコンピューターに挿入します。

※他社ソフトウェア用の WIBU ドングルは挿入しないでください



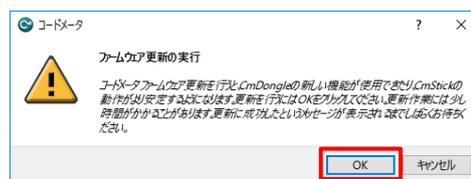
- 2** Windows スタートメニューから「CodeMeter Control Center」を起動します。

スタート → すべてのアプリ → CodeMeter → CodeMeter Control Center

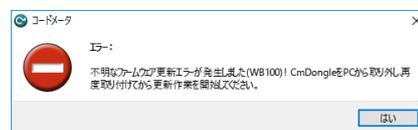
- 3** **ファームウェアの更新** をクリックします。



- 4** ファームウェア更新の確認ダイアログが表示されます。
OK をクリックすると更新が始まります。
ファームウェア更新中はドングルを取り外さないでください。

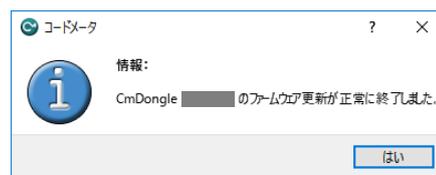


ファームウェア更新中にエラーが発生した場合は **作業を中断し** 弊社または hyperMILL 代理店までお問い合わせください。



- 5** ファームウェア更新が終了すると右図ダイアログが表示されます。すべてのダイアログを閉じてください。

以上でファームウェアの更新は終了です。



9 環境設定の保存と復元

hyperMILL CAD の画面レイアウト および hyperMILL 環境設定の保存と復元に関して説明します。

9.1 hyperMILL CAD 画面レイアウトの保存・復元

hyperMILL CAD の画面レイアウトの保存と復元は以下の手順で行います。



新しいコンピューター または 他のコンピューターへ画面レイアウトのコピーを行う場合は [9.2 環境設定の保存・復元 \(P.33\)](#) を参照してください。

保存 現在の画面レイアウトを「ユーザー初期値」として保存します

- 1 hyperMILL を起動し、**ファイル** → **新規** から新規 CAD ファイルを開きます。
- 2 画面レイアウト・アイコン配置の変更を行います。
- 3 **ファイル** → **オプション** → **レイアウト マネージャ** → **現在の設定を構成として保存** をクリックします。

復元 画面レイアウトを「ユーザー初期値」から復元します

- 1 hyperMILL を起動します。
- 2 **ファイル** → **オプション** → **レイアウト マネージャ** → **構成設定を復元** をクリックします。
画面レイアウトがユーザー初期値から復元されます。

初期状態に復元 画面レイアウトを hyperMILL CAD の初期状態に戻します

- 1 hyperMILL を起動します。
- 2 **ファイル** → **オプション** → **レイアウト マネージャ** → **デフォルト設定を復元** をクリックします。
画面レイアウトが hyperMILL CAD の初期状態に戻ります。

9.2 環境設定の保存・復元

hyperMILL の環境設定の保存と復元は以下の手順で行います。なお、この作業では以下の設定・ファイルが保存されます。

- hyperMILL CAD のオプション設定
- hyperMILL の画面レイアウト・アイコン配置
- データベースのファイル (工具 DB・マクロ DB・カラーテーブル)
- データベースの登録情報
- ポストプロセッサのファイル
- ポストプロセッサの登録情報
- ライセンス設定 (ライセンスサーバー情報・ライセンス参照設定)

保存 環境設定をファイルに保存します

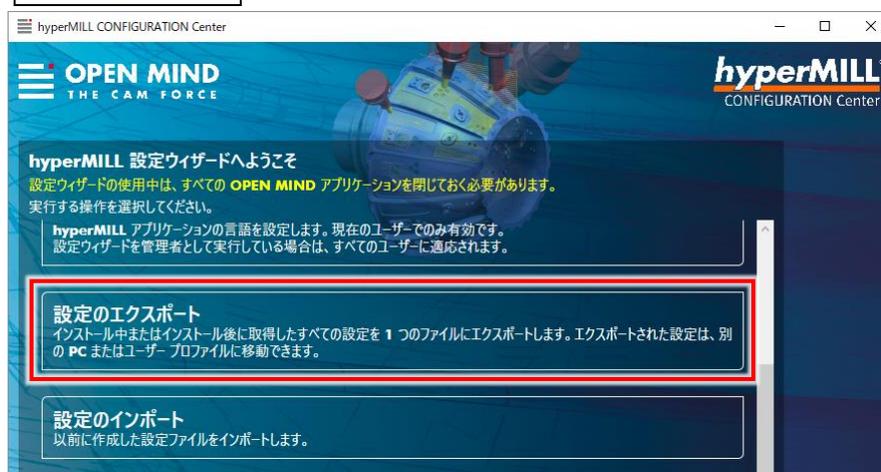
1 以下の要件がすべて満たされていることを確認します。

- hyperMILL を使用するユーザーでログインする
- すべての hyperMILL を終了する

2 Windows スタートメニューから「hyperMILL CONFIGURATION Center」を起動します。

スタート → すべてのアプリ → hyperMILL → CONFIGURATION Center

3 設定のエクスポート をクリックします。

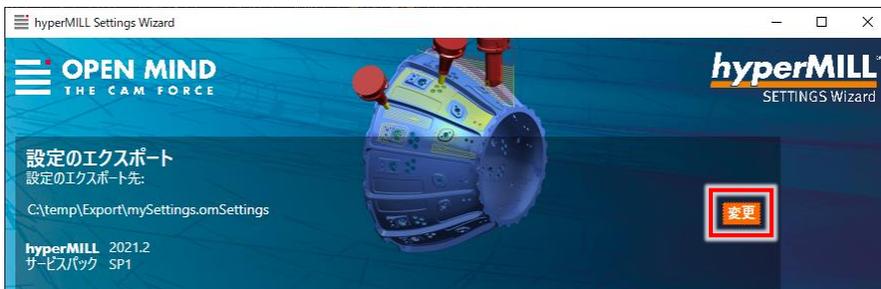


- 4 「エクスポート要件」が表示されます。すべての項目にチェックを入れて **次へ** をクリックします。



- 5 環境設定の保存先・ファイル名を指定します。 **変更** をクリックして保存先を指定してください。変更しない場合は以下の場所・ファイル名で保存されます。

C:¥Users¥[ユーザー名]¥Documents¥mySettings.omSettings



- 6 保存される環境設定の情報が表示されます。確認後 **次へ** をクリックします。



- 7 環境設定の保存が行われます。 **閉じる** をクリックします。



復元 保存した環境設定を復元します

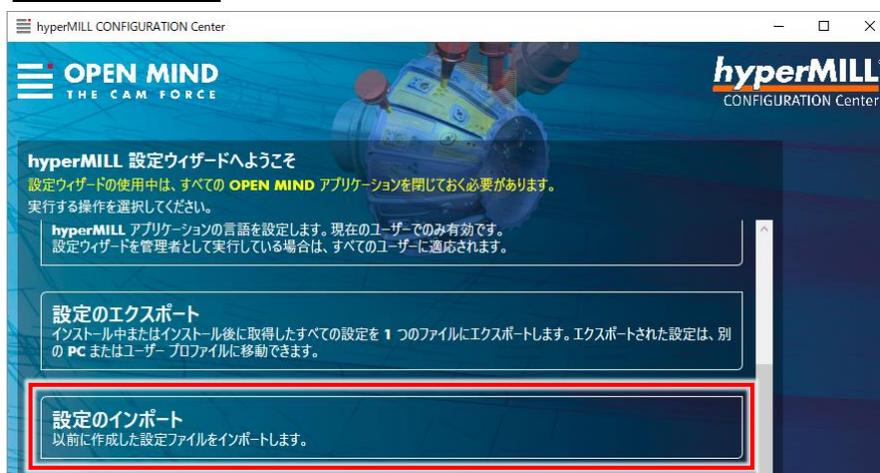
1 以下の要件がすべて満たされていることを確認します。

- hyperMILL を使用するユーザーでログインする
- すべての hyperMILL を終了する

2 Windows スタートメニューから「hyperMILL CONFIGURATION Center」を起動します。

スタート → すべてのアプリ → hyperMILL → CONFIGURATION Center

3 設定のインポート をクリックします。



4 「インポート要件」が表示されます。すべての項目にチェックを入れて 次へ をクリックします。



5 復元する環境設定ファイルを指定します。変更 をクリックしてファイルを指定してください。



- 6 復元される環境設定の情報が表示されます。確認後 **次へ** をクリックします。



- 7 「ユーザーアカウント制御」の確認画面が表示されます。

はい をクリックします。



- 8 環境設定の復元が行われます 復元に関するメッセージを確認後 **閉じる** をクリックします。



- 9 hyperMILL CAD の画面レイアウトを復元します。hyperMILL を起動し、**ファイル** → **オプション** → **レイアウト マネージャ** → **構成設定を復元** をクリックします。
画面レイアウトが環境設定から復元されます。

※SOLIDWORKS 版・Inventor 版の hyperMILL をご使用のお客様は本作業は不要です。

10 トラブルシューティング

インストールやライセンス登録、起動・動作に関する問題を解決する方法をご紹介します。

10.1 インストール関連

■ インストール中に「必要なファイルが使用できません」のメッセージが表示される

原因1. インストールファイルの解凍が正しく行えていない または 解凍されていない可能性があります。

[2 hyperMILL のインストール \(P.6\)](#) の **2** を参考に再度インストールファイルの解凍を行ってください。

原因2. インストールファイルが完全にダウンロードできていない可能性があります。再度インストールファイルのダウンロードを行ってください。

■ インストールに失敗する または インストール時間が異常に長い

原因1. セキュリティソフトがインストールをブロックしている場合があります。セキュリティソフトを停止してください。

原因2. DVD および USB の読み込みに問題が生じている場合があります。DVD・USB 内の全ファイルをローカルディスク内へ一旦コピーし、コピーしたファイルにてインストールを行ってください。

■ インストール中に応答しなくなる

原因1. セキュリティソフトがインストールをブロックしている場合があります。セキュリティソフトを停止してください。

原因2. .NET Framework のダウンロードに時間がかかっている場合があります。インターネットの接続状態を確認してください。

原因3. コンピューターにインストールされた「Dropbox」(オンラインストレージ)アプリケーションが原因の場合があります。アプリケーションをアンインストールしてください。

原因4. コンピューターにインストールされている「コンピューター管理ソフト」が影響している場合があります。管理ソフトを停止またはアンインストールしてください。

コンピューター管理ソフトの例

HP 社 :	HP Client Security Manager	
DELL 社 :	DELL Backup and Recovery - Support Software	など

■ Microsoft .NET Framework のインストールに失敗する

原因1. コンピューターがインターネットに接続されていない場合、Microsoft .NET Framework のインストールに失敗します。以下の手順で .NET Framework をインストールしてください。

- 1 Microsoft 社のホームページから バージョン **4.8 以降**の .NET Framework (オフラインインストーラー) をダウンロードします。以下は .NET Framework 4.8 の例です。

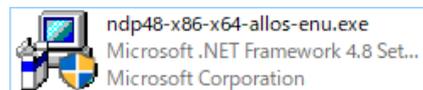
Download .NET Framework 4.8 (英語ページ)

<https://dotnet.microsoft.com/download/dotnet-framework/net48>

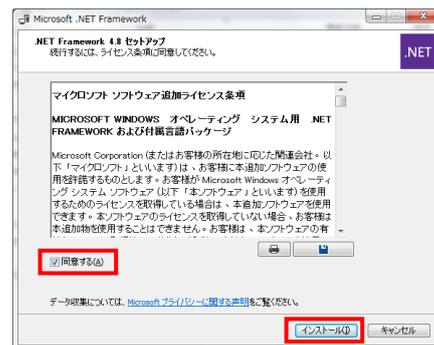
インストーラー直接リンク

<https://dotnet.microsoft.com/download/thank-you/net48-offline>

- 2 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



- 3 右図画面が表示されます。『同意する』にチェックを入れ **インストール** をクリックします。



- 4 インストール完了後、右図画面が表示されます。コンピューターを再起動後、hyperMILL のインストールを行ってください。



10.2 ライセンス・ dongle 関係

■ ライセンス登録でアクティベーションコードの追加ボタンがクリックできない

- 原因1.** License Manager が管理者権限で実行されていない場合 アクティベーションコードの追加 ボタンがグレーアウトします。
License Manager のアイコンを右クリックし「管理者として実行」から起動してください。
- 原因2.** インターネット接続されていない または インターネット接続にプロキシ設定が必要な可能性があります。hyperMILL 代理店または弊社までお問い合わせください。
- 原因3.** 弊社ライセンスサーバーが混雑している可能性があります。時間を置いてから再度お試しください。

■ ライセンス登録でアクティベーションコードを入力してもライセンス一覧が表示されない または ライセンス登録に失敗する

- 原因1.** インターネット接続に問題が生じている可能性があります。接続状態を確認してください。
- 原因2.** 弊社ライセンスサーバーが混雑している可能性があります。時間を置いてから再度お試しください。

■ WIBU Dongle 挿入時にダイアログが表示される

- 原因1.** WIBU Dongle は USB メモリーと同様の扱いとなるため、挿入時にダイアログが表示されます。
ダイアログ右上の × をクリックしてダイアログを閉じてください。

■ ネットワークライセンス運用でライセンスサーバー機能が有効化できない

- 原因1.** ライセンスマネージャーが管理者権限で起動していない場合、ライセンスサーバー機能を有効にすることができません。ライセンスマネージャーを管理者権限で起動してください。
- 原因2.** インストール時の「カスタムセットアップ」(インストールするモジュールの選択)にて『License Server』が選択されていない場合、ライセンスサーバー機能を有効にすることができません。
アンインストールを行ったあと、[2 hyperMILL のインストール \(P.6\)](#) を参考に『License Server』を選択してインストールを行ってください。

10.3 起動・動作関連

■ hyperMILL 起動時にライセンスエラーが発生する

- 原因1.** ドングルが挿入されていない または ドングル認識に不具合が生じている可能性があります。
ドングルを挿入する USB ポートを変更してください。
解消されない場合は [8.1 WIBU ドングル ドライバーのインストール \(P.28\)](#) を参考に認識状態を確認 および ドングルドライバーのインストールを行ってください。
- 原因2.** ドングル内のライセンスのバージョンが古い、またはライセンスが登録されていない可能性があります。
[4 ライセンスの登録・更新 \(P.20\)](#) を参考にライセンスの更新・登録を行ってください。
- 原因3.** ドングル内のライセンスに「hyperMILL CAM」ライセンスが含まれていない(購入していない)場合、あらかじめ hyperMILL CAM 機能を無効化しておく必要があります。
[7 hyperMILL CAM のバージョン切り替え \(P.27\)](#) を参考に hyperMILL CAM の無効化を行ってください。 ※ ボタンを押すと無効化されます

■ hyperMILL のショートカットをダブルクリックしても反応がない

- 原因1.** ログインユーザー名に禁止文字が含まれている可能性があります。
[2 hyperMILL のインストール \(P.6\)](#) に記載された禁止文字がログインユーザー名に含まれていないかを確認してください。
禁止文字が含まれていた場合は、半角英数字で作成したログインユーザーにて hyperMILL を起動してください。

■ hyperMILL CAD で「開く」を選択するとフリーズする/異常終了する

- 原因1.** コニカミルタ製「PageScope Box Operator」が影響している場合があります。hyperMILL 代理店または弊社までお問い合わせください。
- 原因2.** DELL 社製コンピューターの場合、インストールされている「DELL Backup and Recovery」が影響している場合があります。hyperMILL 代理店または弊社までお問い合わせください。

■ hyperMILL・hyperVIEW 起動時にエラーが発生する

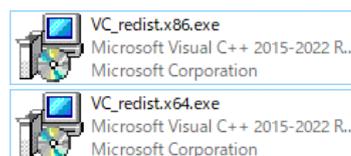
原因1. 下図のエラーが発生した場合、Microsoft Visual Studio C++ 再頒布可能パッケージ の最新バージョンを手動インストールする必要があります。以下の手順でインストールを行ってください。



1 Microsoft 社のホームページからプログラム **2 種**をダウンロードします。

Microsoft サポート Visual C++ のダウンロード
<https://docs.microsoft.com/ja-JP/cpp/windows/latest-supported-vc-redist?view=msvc-170>
 インストーラー直接リンク (Visual C++2015-2022 統合パッケージ)
https://aka.ms/vs/17/release/vc_redist.x86.exe
https://aka.ms/vs/17/release/vc_redist.x64.exe

2 ダウンロードしたプログラムをダブルクリックします。
(1 つずつインストールしてください)

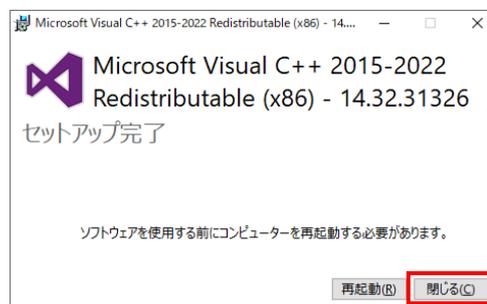


3 インストーラーが起動します。
「ライセンス条項および使用条件に同意する」にチェックを入れ **インストール** をクリックします。



4 インストール完了後、右図画面が表示されます。
閉じる をクリックします。

「再起動する必要があります」と表示された場合はインストール画面を閉じた後にコンピューターの再起動を行ってください。



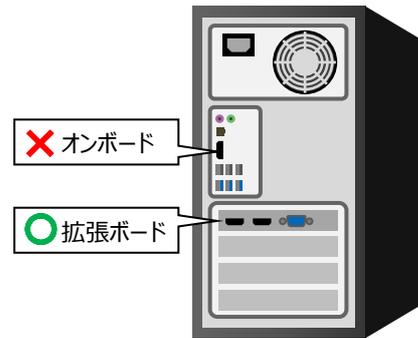
■ グラフィックが描画されない、動作が異常に遅い、頻繁に異常終了する

原因1. NVIDIA 社製グラフィックカードの場合、グローバルプリセット設定が hyperMILL に適していない可能性があります。

3.1 グラフィックカードの設定 (P.16) を参考にグローバルプリセット設定を行ってください。

なお、Windows Update によりドライバーが更新された際にグローバルプリセット設定が初期状態に戻る場合があります。ドライバーが更新された際には設定の再確認を行ってください。

原因2. デスクトップ PC の場合、ディスプレイケーブルが「拡張ボード側」ではなく「オンボード側」に挿入されている可能性があります。ディスプレイケーブルを「拡張ボード側」に挿入してください。



原因3. ノート PC の場合、グラフィックの自動切換え機能(NVIDIA Optimus など)により不具合が生じている可能性があります。切換え機能を無効化するか、CAD が高パフォーマンスプロセッサで動作するように設定してください。

■ グラフィックカードの設定で「グローバルプリセット」が切り替えられない

原因1. コンピューターの出荷初期状態 または Windows Update によってグラフィックドライバーが更新された状態ではグローバルプリセットの切り替え時にエラーが出る場合があります。ドライバーの再インストール(クリーンインストール)を行ってください。

※ドライバーのインストール方法は [NVIDIA 社のサイト](#)をご確認ください

原因2. デスクトップ PC の場合、ディスプレイケーブルが「拡張ボード側」ではなく「オンボード側」に挿入されているため、グラフィックカードが有効になっていない可能性があります。ディスプレイケーブルを「拡張ボード側」に挿入してください。

■ 以前のバージョンより hyperMILL の動作に時間がかかる

原因1. hyperMILL メニューの表示やシミュレーション、NC ファイル変換に時間がかかる場合、WIBU ドングルのファームウェアが原因の可能性があります。

[8.2 WIBU ドングル ファームウェアの手動更新 \(P.31\)](#) を参考にファームウェアの更新を行ってください。

原因2. セキュリティソフトによるチェックが原因の可能性があります。セキュリティソフトでのチェック対象から hyperMILL を除外するか、セキュリティソフトの停止を行ってください。

チェック対象の除外に関しては [3.4 セキュリティソフトの除外設定 \(P.19\)](#) を参考にしてください。

■ hyperMILL にて特定の操作を行うとフリーズする

原因1. Microsoft IME(文字の変換機能)に含まれる不具合の影響で、hyperMILL にて特定の操作を行った際にフリーズすることが確認されています。

[3.2 Microsoft IME の設定 \(P.17\)](#) を参考に Microsoft IME の設定変更を行ってください。

なお、Windows Update 実行後に IME 設定が初期状態に戻ることがあります。設定が初期状態に戻った場合は再度 IME 設定の変更を行ってください。

■ アプリケーションが英語メニューで起動する

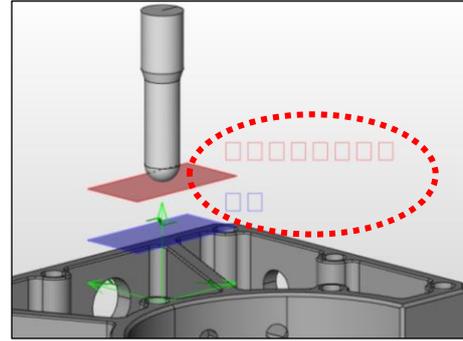
原因1. hyperMILL のバージョン切り替えを行うことで解消する場合があります。

[7 hyperMILL CAM のバージョン切り替え \(P.27\)](#) を参考に hyperMILL のバージョン切り替えを行ってください。

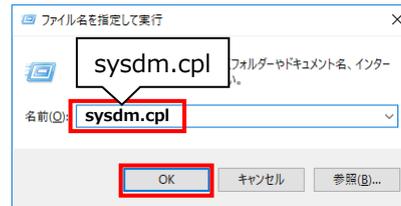
原因2. インストールが一般ユーザー権限で行われたため、インストールが正常終了していない可能性があります。管理者権限で再度インストールを行ってください。

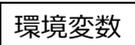
■ hyperMILL で日本語が文字化けする

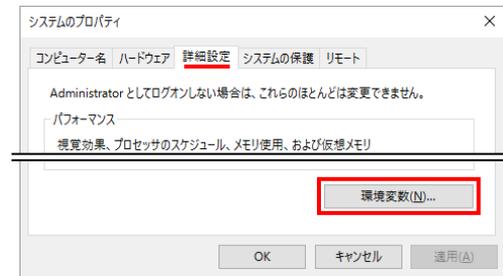
原因1. ジョブ設定を開いた際に hyperMILL 画面上に表示される「クリアランス平面」「境界」などの文字が“□□□□”と表示される場合、以下の手順でシステム環境変数を設定してください。



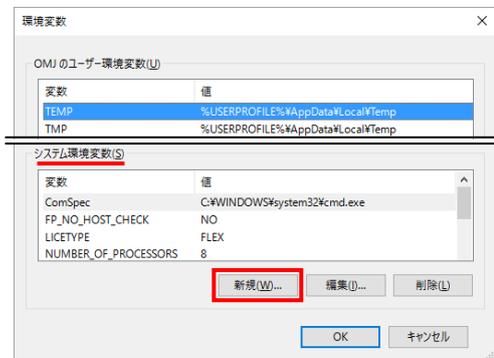
1 キーボードの  Windows キー +  R キー を押して「ファイル名を指定して実行」を表示し、“sysdm.cpl” と入力して  OK をクリックします。



2  環境変数 をクリックします。



3 システム環境変数 項目の  新規 をクリックします。



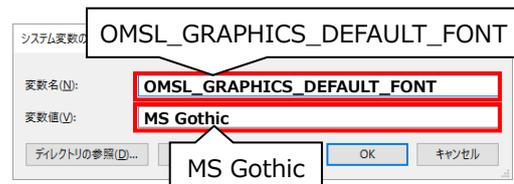
4 変数名・変数値を以下のように設定します。

変数名

OMSL_GRAPHICS_DEFAULT_FONT

変数値

MS Gothic



5 OK をクリックしてすべてのウィンドウを閉じます。

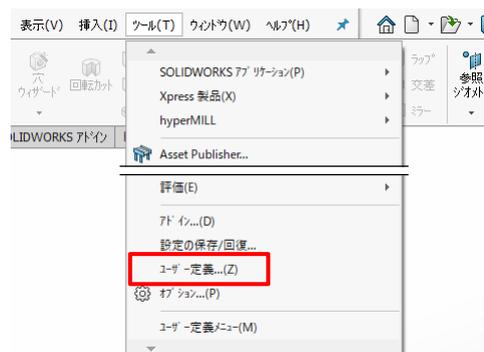
■ SOLIDWORKS 上に hyperMILL リボンバーが表示されない または 旧バージョンの hyperMILL リボンバーが表示される

原因1. リボンバー情報が正しく登録されていないと思われます。
以下の手順でリボンバーの削除・再登録を行ってください。

1 SOLIDWORKS を起動し、新規ファイルを開きます。

2 上部メニュー **ツール** → **ユーザー定義** を選択します。

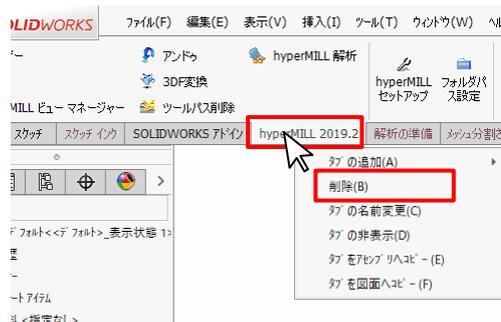
「ユーザー定義」メニューが表示され、リボンバー領域には登録されているリボンバーがすべて表示されます。



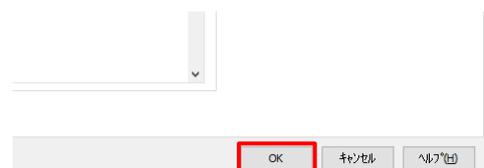
3 リボンバー領域に表示されている hyperMILL リボンバーを右クリックし **削除** を選択します。

複数のバージョンの hyperMILL リボンバーが表示されている場合はすべて削除します。

※「ユーザー定義」メニューの操作は行いません

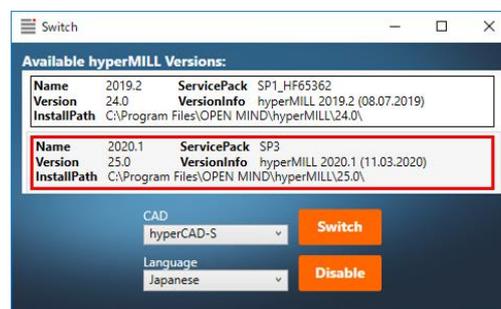


4 「ユーザー定義」メニューの **OK** をクリックしてメニューを閉じます。



5 上部メニュー **ファイル** → **終了** より SOLIDWORKS を終了します。

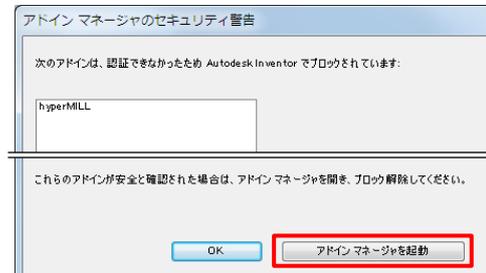
6 [7 hyperMILL CAM のバージョン切り替え \(P.27\)](#) を参考に hyperMILL のバージョン切り替えを行います。



■ Inventor 起動時に「アドインマネージャのセキュリティ警告」が表示される

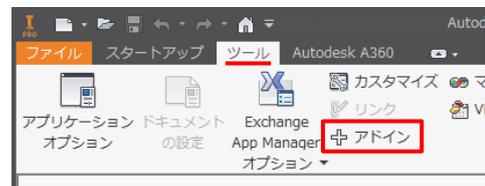
原因1. アドインマネージャにより hyperMILL がブロックされた場合は、以下の手順でブロックを解除して下さい。

- 1** セキュリティ警告画面で
アドインマネージャを起動 をクリックします。



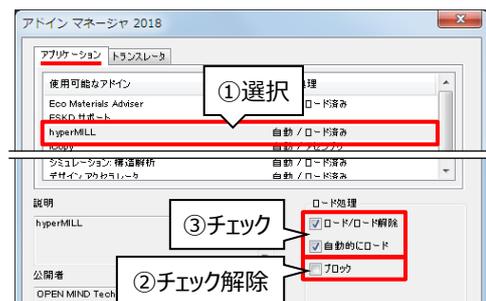
アドインマネージャは以下のメニューからも起動できます。

ツール リボンバー → アドイン



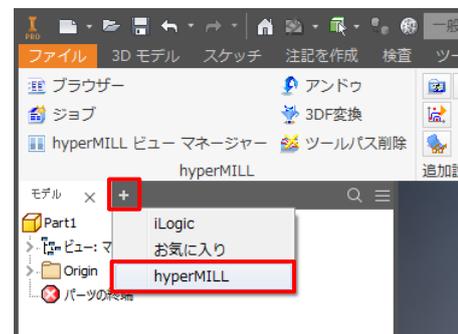
- 2** 使用可能なアドインから「hyperMILL」を選択し
ブロック のチェックを解除し、ロード/ロード解除
 および 自動的にロード のチェックを入れます。

設定後 OK をクリックし、Inventor を再起動しま
 ず。



■ Inventor にて hyperMILL ブラウザーが表示されない

原因1. ブラウザー をクリックしても hyperMILL ブラウザーが
 表示されない場合は、Inventor ブラウザ(画面左側)
 にて + をクリックし、hyperMILL タブの追加を
 行ってください。



おことわり

- 本書の内容に関しては、予告無く変更することがあります
- 本書及び本製品を運用し、利用者の皆様に発生した損害について、いかなる責任も負いません。

著作権について

- 本書には、各国の著作権法・条約により保護されている以下の著作物が含まれます。
 - 文章、音楽、絵画、図面、編集著作物、動画、映画、写真、プログラム、
 - データベースの著作物、およびこれらの二次的著作物
- これら著作物について、無断で複製、送信、放送、配布、貸与、翻訳、変造することは、著作権侵害になり、法的に罰せられることがあります。

本書に記載されている商標、登録商標について

- hyperMILL[®]は OPENMIND Technologies AG 社の商標または登録商標です。
- Windows[®]および Windows 製品は Microsoft Corporation 社の商標または登録商標です。
- その他、記載された会社名および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

オープン・マインド・テクノロジーズ・ジャパン株式会社

〒180-0013

東京都武蔵野市西久保 3-2-1 アルベルゴ武蔵野 B101

■ OPENMIND サポート

050-5358-4657 営業時間 9:00～17:30(土日・祝日および弊社休日を除く)

support@openmind-tech.co.jp